

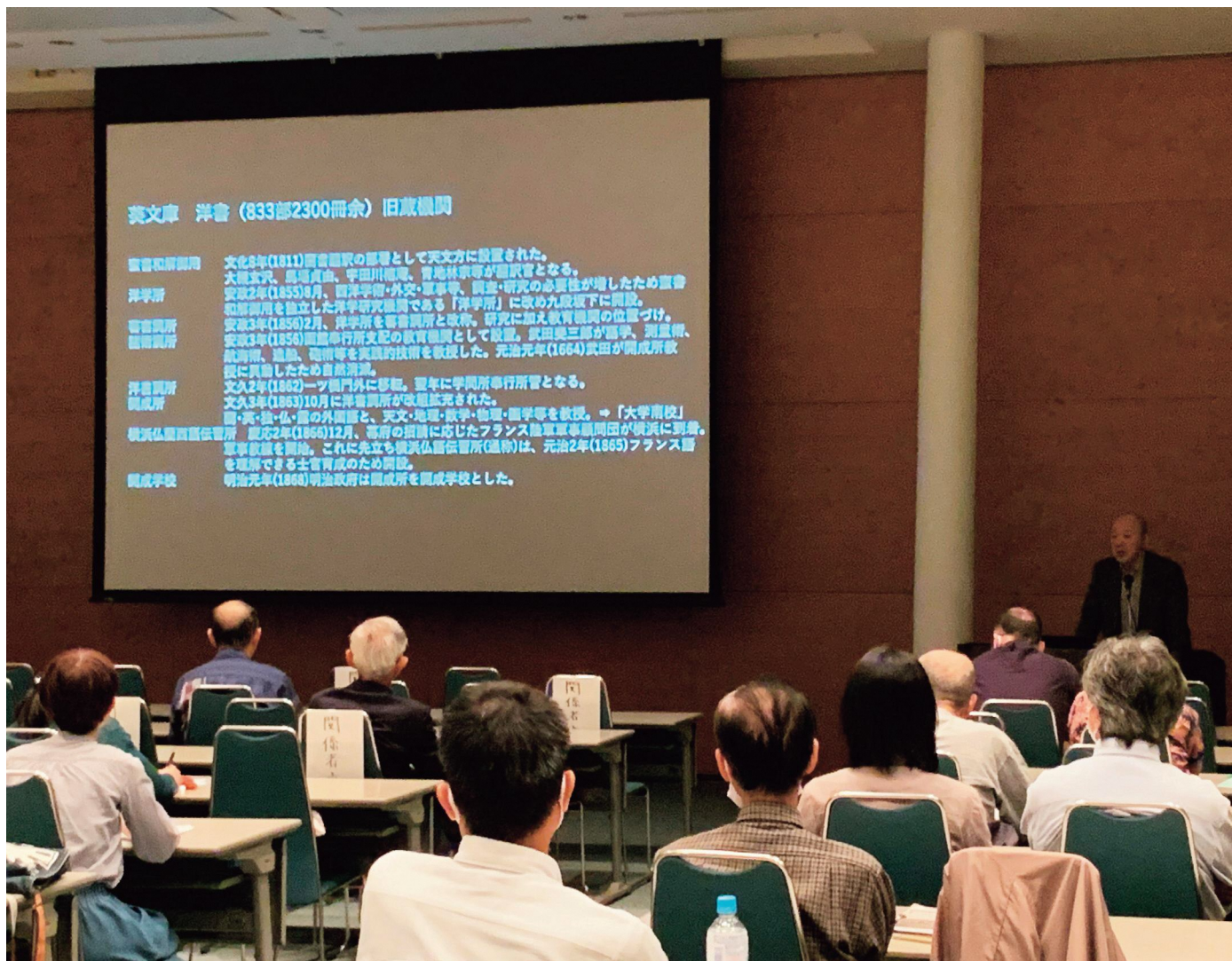
文化の丘

静岡県立中央図書館だより

令和6年2月号
(ISSN 1345-2282)

No.375

- 1 貴重書講座スペシャル開催!!
- 2 『貴重書動画』完成!
初開催! Library Concert
- 3 江戸時代駿府の出版活動
歴史文化情報センターの
業務再開について
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!



貴重書講座スペシャル開催!!

当館所蔵の貴重書と利用者をつなぐ目的で、毎年開催している“貴重書講座”。今年度は英文庫の会*が主催者となり、当館の協力のもと、東アジア文化都市2023静岡県のイベントとして10月21日(土)、グランシップにて開催されました。

講師は元文化庁主任文化財調査官の岡部幹彦氏。岡部氏は長年、美術工芸品の国宝・重文指定等に関わられてきた方です。テーマは「欧米への江戸幕府の眼差し－英文庫の洋書を中心に－」。岡部氏は、英文庫の淵源が江戸幕府において洋学研究を推進した天文方の「蛮書和解御用」にあり、洋学研究のきっかけが「改暦」と世界・日本の「地図」づくりにあったことを具体的な事例をもとに明らかにされました。

当日は講演の他に、当館貴重書の紹介動画が初公開されました。静岡県民の財産とも言える英文庫等の当館貴重書を、後世に確実に継承することについて思いを新たにする一日となりました。

※ 英文庫の会：英文庫について調査、研究している会。



岡部幹彦氏

2面『貴重書動画』完成!

『貴重書動画』完成！

葵文庫の会による東アジア文化都市2023静岡県の事業では、貴重書講座スペシャルの実施だけでなく、令和7年に開館100周年を迎える当館の歴史と貴重書の紹介動画の制作・公開も行われました。

動画は、「葵文庫編」「葵文庫以外の貴重書編」「図書館の歴史編」の3本が制作され、貴重書講座スペシャルでお披露目されました。

「葵文庫編」と「葵文庫以外の貴重書編」の動画は、当館の80周年を記念して平成17年に刊行された『「しずおか」の貴重書』（平成21年に改訂版刊行）などを参考にして制作されたものです。両動画とも、導入部に静岡大学名誉教授の小和田哲男氏による案内映像があり、落ち着いた内容ながらも分かりやすい作りになっています。

「図書館の歴史編」の動画は、まもなく開館100周年という節目の年を迎え、さらにその数年後には新県立中央図書館の開館を予定している当館が歩んできた道のりを、関連する写真や資料を交えて映像化したものです。



いずれの動画も当館のYouTube公式チャンネルで公開していますので、ぜひご覧ください。



初開催! Library Concert 図書館コンサート



閲覧室を会場にした演奏風景

10月28日(土)夜、当館で初の試みとなる図書館コンサートを開催しました。閉館後の閲覧室を会場に、

県立清水南高等学校芸術科音楽専攻2年生がチャイコフスキーのバレエ音楽「くるみ割り人形」から「花のワルツ」などを演奏し、普段は静かな閲覧室に電子ピアノやアルトサックス、クラリネットの音色が響き、特別な時間を参加者と共有することができました。

本コンサートは演奏のみならず、曲間に演奏曲やバ



レエに関連した当館所蔵の本も紹介し、“本×音楽”という異なる文化芸術を繋げることで、双方から興味関心を持てるプログラムにしました。



本と音楽を繋ぐ場となった

また、同日、こちらも当館初となる地元企業“hugcoffee”の出店が実現! 利用者にも大好評でした!



hugcoffeeの出店の様子

こうした新しい試みが、新図書館開館への機運醸成に繋がればと願っています。

江戸時代駿府の出版活動 ～採撰亭木活字版～

～柴館長よりひと言～



採撰亭木活字版

静岡県立中央図書館の主要な役割の一つに、地域資料の収集があります。これは地域で育まれた貴重な文化を後世に伝えていくことを目的としています。地域文化を支える上で、大きな役割を果たしてきたのが地域の出版社です。近年はSNSによって誰もが情報を手軽に発信できる時代となりましたが、地域に対する深い理解と洗練された価値判断、編集のノウハウを持つ出版社の存在は依然として重要です。

さて、徳川家康の「駿河版」は我が国の出版文化史上極めて著名ですが、それから約200年後、同じ駿府で木活字を用いて出版活動を行っていた町人学者がいたことをご存じでしょうか。この人物、柴崎直古（しばさきなおふる）といえます。柴崎は俳諧をたしなみ、国学者の平田篤胤に入門するなど、なかなかの教養人で、駿府とその周辺の文化人サロンの中心的存在でした。柴崎は書店を開業する傍ら、当時珍しかった木活字により地元的地誌や学者の漢詩、俳諧などを出版しました。この出版物は、彼の号である「採撰亭」にちなみ、採撰亭木活字版（さいせんていもくかつじばん）と呼ばれました。

採撰亭木活字版は地域の優れた文化を発掘し、広める役割を果たしました。庵原郡西方村の漢学者・詩人、山梨稲川（とうせん）は採撰亭木活字版『稲川詩草』によって中国にまでその名が知られるようになりました。当館には採撰亭木活字版5部19冊が収蔵されています。

柴崎の出版に託した思いは、現在の地域出版社に引き継がれています。地域文化を支え、継承していくために、図書館として地域出版社や書店に對し何ができるのか。今後も考えていきたいと思っています。

歴史文化情報センターの業務再開について

こんにちは、歴史文化情報センターです。

令和6年4月2日（火）に県立中央図書館内に下記内容で移転オープンいたします。以前は平日のみの閲覧でしたが、移転オープン後は事前予約制で土日祝日も資料の閲覧が可能となります。詳しくはホームページをご覧ください。職員にお尋ねください。

ぜひ、静岡県立中央図書館で『静岡県史編さん収集資料』に触れてみてください。

●利用時間／図書館開館日の平日 9：00～17：00

資料の出納受付は 16：00 まで

出納資料の返却は 16：30 まで

●住 所／静岡市駿河区谷田 53-1（県立中央図書館内）

●電 話／054-294-7227

●Mail／rekibun@pref.shizuoka.lg.jp

土日祝日は事前予約した資料の閲覧・複写のみ可能です。

資料の追加、レファレンスなど是对應できませんので、予めご了承下さい。



「パレットリーディング」
外部団体の情報を活用した展示づくり。

2023.11.24 藤枝市立駅南図書館



足下からも
案内をしています。

2023.11.29 浜松市立引佐図書館



洪水と津波のハザードマップを掲示。
日常への意識づけ。

2023.10.04 吉田町立図書館



シンプルですが引きつけられます。

2023.05.18 函南町立図書館



壁一面の掲示。
館内のいろいろなところに
展示があります。

2023.10.20 富士宮市立芝川図書館



階段を利用して
SDGsを
呼びかけます。

2023.09.21
富士宮市立
中央図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- 協力車による運営相談や地域館・分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。